



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社セイファート
コード番号 9213 URL <https://www.seyfert.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 長谷川 高志

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員 経営管理本部本部長
兼経理部兼経営企画部部長 （氏名） 西 山 一広（TEL）03-5464-1490

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	1,429	△10.2	△93	—	△94	—	△128	—
2024年12月期第3四半期	1,592	△1.3	24	△80.0	27	△78.2	17	△80.0

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 △132百万円（－％） 2024年12月期第3四半期 17百万円（△81.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△96.94	—
2024年12月期第3四半期	13.20	13.18

（注）2025年12月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	1,534	900	58.7
2024年12月期	1,745	1,082	62.0

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 900百万円 2024年12月期 1,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	10.00	—	32.00	42.00
2025年12月期	—	5.00	—		
2025年12月期（予想）				7.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	1,934	△9.2	△97	—	△99	—	△134	△101.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想の修正については、2025年11月7日に公表いたしました「繰延税金資産の一部取崩し及び連結業績予想の修正並びに個別業績見込みと前期実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	1,320,800株	2024年12月期	1,320,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	42株	2024年12月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	1,320,795株	2024年12月期3Q	1,320,800株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会開催)

当社は、2025年11月19日(水)午後5時より、個人投資家向けの決算説明会(Web説明会)を開催する予定です。

当日使用する資料につきましては、決算説明会前日までに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大阪・関西万博の開催やインバウンド需要、個人消費等により景気は緩やかな回復基調を維持している一方で、継続する物価高騰、為替変動や米国の政策動向に伴う影響による海外景気の下振れリスク等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する美容業界におきましては、美容サービスへの個人消費は底堅く推移している一方で、新規開業の増加による競争激化、コスト上昇や倒産件数の増加傾向等の影響から美容室の経営環境は厳しくなっており、引き続き注視が必要な状況が続くと見込まれます。

このような経営環境のもと、当社グループはサロンサポート事業を通じて、美容業界に向けた「広告求人サービス」による美容室経営企業の課題解決、「紹介・派遣サービス」による優秀な美容師人材の提供、「教育（その他）サービス」による教育機会の提供等により、美容業界の活性化を促進するための取組みを継続しております。

当第3四半期連結累計期間における「広告求人サービス」、「紹介・派遣サービス」、及び「教育（その他）サービス」の状況は、以下のとおりであります。

「広告求人サービス」－美容業界向けWebメディア等の広告を中心としたサービス

同サービスは、美容業界に特化した求人情報サイト「re-request/QJ navi」（転職美容師向け）、「re-request/QJ navi 新卒」（新卒美容学生向け）、合同会社説明会「re-request/QJ 就職フェア」、及び美容室プロモーションメディア「beauquet」等の商品から構成されております。

「新卒採用商品」は、前連結会計年度は第3四半期に発行した美容学生向け就職情報誌「re-request/QJ FOR ROOKIES」を当連結会計年度は第4四半期へと変更し一時的な低調要因となりました。しかしながら、大規模な「re-request/QJ 就職フェア」を全国各地で開催したこと、及び「re-request/QJ navi 新卒」も掲載件数が増加したこと等により、両商品は前年同期を上回り、全体としては堅調に推移いたしました。

美容室プロモーションメディア「beauquet」と「タブレット・レンタル」は、クロスセルに伴い、タブレットを活用した広告配信による収益を積上げたものの、前年同期に受託した大型プロモーション案件が当連結会計年度は第4四半期以降に時期ずれしたことで、案件数、及び案件単価が前年同期を下回り低調に推移いたしました。しかしながら、中期的には案件数、及び案件単価ともに成長基調であります。

中途採用（転職）市場における「re-request/QJ navi」は、SEO対策等の応募件数増加施策を継続して実施しているものの、応募件数獲得のペースが想定を下回っております。一方で、掲載件数は第3四半期累計で販促キャンペーンを継続的に実施しており前年同期比95.1%まで回復、当第3四半期は前年同期比増加に転じております。しかしながら、比較的掲載単価が高い既存掲載件数が減少していること等により、低調に推移いたしました。

その結果、「広告求人サービス」は、売上高923百万円（前年同期比17.5%減）、売上総利益608百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

「紹介・派遣サービス」－美容師と美容室経営企業をOne to Oneで繋ぎ、働く場を提供するサービス

同サービスは、美容師に特化した人材紹介「re-request/QJ agent」、人材派遣「re-request/QJ casting」、及びヘアメイク手配「re-request/QJ ヘアメイク」等の商品から構成されております。

「re-request/QJ ヘアメイク」は、美容家電メーカー等からの案件、及びスポーツブランドからのイベント案件等の比較的高単価な案件を多く獲得できたこと等により、好調に推移いたしました。

「re-request/QJ agent」は、通常紹介での最終的な成約数が前年同期を下回ったものの、人材紹介とWeb採用プロモーションのセット販売は引き続き好調だったこと等により、堅調に推移いたしました。

「re-request/QJ casting」は、美容師の働き方の多様化により、美容室経営企業へ派遣した美容師数、及び派遣日数が減少いたしました。また、退職給付費用を含む派遣美容師の人件費が上昇したこと等により売上総利益率が低下し、低調に推移いたしました。

その結果、「紹介・派遣サービス」は、売上高250百万円（前年同期比8.5%減）、売上総利益89百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

「教育（その他）サービス」－美容師や美容学生向けの産学協同による実践型教育を中心としたサービス

同サービスは、美容業界向け教育プログラム「資格証明」（美容学校向け）、英国をはじめとする英国教育機関「City & Guilds」導入国での「海外研修」、関係会社であるSEYFERT International USA, Inc.の美容室運営等から構成されております。

「海外研修」は、英国教育機関「City & Guilds」との関係性を活かして前連結会計年度から開始した英国からの来日研修の回数が増加したこと、及び実施単価が大幅に向上したことにより、当第3四半期連結累計期間の業績に大幅に貢献いたしました。

「資格証明」は、産学協同に資する当プログラムの導入美容学校数、賛同美容室経営企業数、及び認定試験官

(エグザミナー)数が安定的に増加したこと等により、好調に推移いたしました。

SEYFERT International USA, Inc.については、米国カリフォルニア州にて運営する美容室2店舗において、稼働美容師数の増加に伴い顧客数が増加、及び顧客単価が向上したことにより好調に推移いたしました。

その結果、「教育(その他)サービス」は、売上高255百万円(前年同期比28.5%増)、売上総利益118百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高1,429百万円(前年同期比10.2%減)、営業損失93百万円(前年同期は営業利益24百万円)、経常損失94百万円(前年同期は経常利益27百万円)となり、法人税等合計33百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は128百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益17百万円)となりました。

なお、当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略いたしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,534百万円となり、前連結会計年度末に比べ210百万円減少いたしました。

流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は1,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ159百万円減少いたしました。

これは主に、棚卸資産が4百万円増加した一方で、現金及び預金が105百万円、売掛金が33百万円、未収入金等のその他流動資産が24百万円減少したことによるものであります。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は377百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。

これは主に、繰延税金資産が28百万円、ソフトウェアが22百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は633百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は447百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少いたしました。

これは主に、契約負債が30百万円増加した一方で、未払金等のその他流動負債が35百万円、賞与引当金が15百万円、買掛金が11百万円、1年内返済予定の長期借入金が11百万円減少したことによるものであります。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は185百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。

これは主に、退職給付に係る負債が6百万円、リース債務が4百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は900百万円となり、前連結会計年度末に比べ181百万円減少いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を128百万円計上、2024年12月期期末配当42百万円、2025年12月期中間配当6百万円の支払により利益剰余金が176百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月14日公表の予想を修正しております。詳細は、2025年11月7日に公表いたしました「繰延税金資産の一部取崩し及び連結業績予想の修正並びに個別業績見込みと前期実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,073,318	967,922
売掛金	101,472	67,555
有価証券	10,000	10,000
棚卸資産	8,576	12,754
その他	123,262	98,919
貸倒引当金	△913	△581
流動資産合計	1,315,716	1,156,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,799	49,303
減価償却累計額	△21,665	△23,200
建物及び構築物(純額)	29,134	26,103
機械装置及び運搬具	6,223	6,170
減価償却累計額	△6,044	△6,031
機械装置及び運搬具(純額)	178	138
工具、器具及び備品	82,547	89,467
減価償却累計額	△68,178	△72,813
工具、器具及び備品(純額)	14,368	16,654
有形固定資産合計	43,681	42,896
無形固定資産		
ソフトウェア	203,999	181,485
ソフトウェア仮勘定	1,042	1,084
その他	1,274	1,131
無形固定資産合計	206,316	183,701
投資その他の資産		
投資有価証券	18,327	18,321
長期貸付金	9,090	9,090
繰延税金資産	65,326	37,277
その他	131,888	131,503
貸倒引当金	△45,047	△44,927
投資その他の資産合計	179,584	151,264
固定資産合計	429,582	377,861
資産合計	1,745,298	1,534,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,554	47,617
1年内返済予定の長期借入金	14,185	2,500
リース債務	1,702	3,304
未払法人税等	752	96
契約負債	260,563	291,313
賞与引当金	26,800	11,256
その他	126,804	91,744
流動負債合計	490,363	447,832
固定負債		
リース債務	6,224	10,973
退職給付に係る負債	164,832	171,481
その他	1,708	3,171
固定負債合計	172,765	185,626
負債合計	663,128	633,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,796	266,796
資本剰余金	216,796	216,796
利益剰余金	585,157	408,254
自己株式	—	△38
株主資本合計	1,068,749	891,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	230
為替換算調整勘定	13,185	8,936
その他の包括利益累計額合計	13,420	9,166
純資産合計	1,082,170	900,974
負債純資産合計	1,745,298	1,534,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,592,813	1,429,823
売上原価	655,340	613,189
売上総利益	937,472	816,634
販売費及び一般管理費	912,585	909,825
営業利益又は営業損失(△)	24,887	△93,191
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,562	2,677
受取賃貸料	1,089	1,067
債務勘定整理益	1,636	1,555
業務受託料	900	—
その他	2,103	279
営業外収益合計	7,291	5,580
営業外費用		
支払利息	3,025	2,755
為替差損	81	2,495
シンジケートローン手数料	1,852	1,863
その他	66	66
営業外費用合計	5,026	7,180
経常利益又は経常損失(△)	27,151	△94,791
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,151	△94,791
法人税、住民税及び事業税	2,413	2,515
法人税等調整額	7,310	30,726
法人税等合計	9,723	33,242
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,428	△128,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	17,428	△128,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,428	△128,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	△3
為替換算調整勘定	37	△4,249
その他の包括利益合計	△21	△4,253
四半期包括利益	17,406	△132,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,406	△132,287
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

- 1 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約及び取引金融機関7行と貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく借入金未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
当座貸越限度額及び 貸出コミットメント契約の総額	1,600,000千円	1,600,000千円
借入実行残高	〃	〃
差引額	1,600,000千円	1,600,000千円

2 財務制限条項

借入金(2021年8月27日当社締結のコミットメントライン契約)については、以下の財務制限条項が付されております。

- ① 連結会計年度の末日において単体の貸借対照表に記載される純資産の部の金額をマイナスとしないこと。
② 連結会計年度の末日において単体の損益計算書に記載される経常損益を2期連続で損失としないこと。

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
借入金残高	一千円	一千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	54,866千円	59,139千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。